６．今後のスケジュール

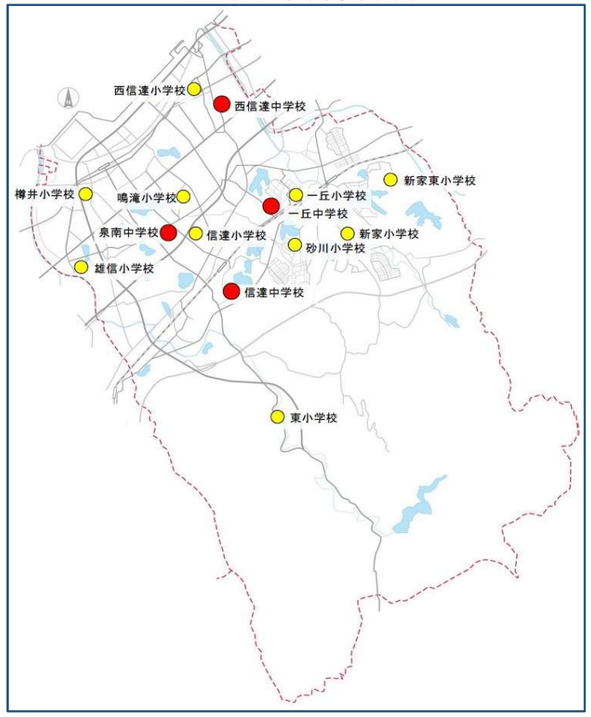
泉南市教育委員会では、今後、令和３（2021）年３月（予定）までに、泉南市小中学校再編計画＜複数原案＞（※）について、住民説明会を学校区ごとに開催し、市民との意見交換を実施していきます。

そして、住民説明会においていただいた意見などを基に、必要な修正や追加等を行って再編計画＜複数案＞とした後、有識者等で構成される教育問題審議会へ審議をお願いします。審議会から一つの案に絞り込んだ答申をお受けし、改めて教育委員会で話し合い再編計画＜案＞を決定します。

その後、最終的に総合教育会議において、市長と教育委員会で再編計画＜案＞を基に協議を行い、市として再編計画を最終決定します。

（※）泉南市小中学校再編計画＜複数原案＞の全体版は、泉南市ウェブサイトの教育委員会のページでご覧いただけます。

泉南市内の小中学校位置図



すべての小中学生にタブレット（iPad）を貸与！

国の GIGA（ギガ）スクール事業により、泉南市の全ての市立小中学生に学習用のタブレット（iPad（アイパッド））を貸し出しています。このタブレットは、学校以外でもインターネットに接続して学習ができます。各教室には大型のモニターを新たに設置！ 新しい時代の学びが始まっています！

すべての小中学校に ALT が常駐（JET プログラム）！

Ｊ：ＣＯＭ提供
写真中央が、泉南市で勤務する ALT（外国語指導助手）

世界中の青年が国際交流のために日本に滞在する、国のプロジェクト「JET（ジェット）プログラム」―― 泉南市にも、ALT（外国語指導助手）、CIR（国際交流員）、SEA（スポーツ国際交流員）がやってきます（計 20 人）。ALT は、全ての市立小中学校に常駐します。CIR は、幼稚園などを巡回して交流します。SEA は、野球や水泳のコーチをします。

さあ、ご一緒に **“Welcome to Sennan City！”**（ようこそ泉南市へ！）

発行・編集：泉南市教育委員会事務局　教育部　　〒590-0592　泉南市樽井一丁目１番１号
TEL：072-483-2581（教育総務課直通）　　FAX：072-483-7306
e-mail：k-soumu@city.sennan.lg.jp　　市ウェブサイト：http://www.city.sennan.lg.jp

情報満載の教育委員会ポータルサイトを新設！ 泉南市 HP のバナーかこちらの QR で。

せんなん教育ニュース

令和３（2021）年２月　泉南市教育委員会

泉南市立小中学校再編計画＜複数原案＞概要版

泉南市の子どもたちの健やかな成長のため、このたび泉南市教育委員会では、泉南市立小中学校再編計画＜複数原案＞を作成し、市のウェブサイトに公表しています。これはその概要版です。今後これらの案を基に、住民説明等を行った後、教育問題審議会において複数案の中から１案に絞る答申をいただき、教育委員会の会議を経て、最終的な再編計画とします。

１．学校施設の現状

泉南市の学校施設は、泉南中学校を除いて全体として老朽化が進んでいます。いずれも耐震基準は満たしており、必要な維持管理・修繕等を行っていますが、文部科学省が示す学校施設の老朽対策は、次のとおりです。

・経年 25 年以上の施設は一般的に改修が必要
・経年 45 年以上を経過した未改修建物は緊急的な老朽対策が必要

すでに本市の一部の学校において劣化による壁の剥落や雨漏りなどがみられ、児童生徒や教職員の安全面からも対策が急がれます。

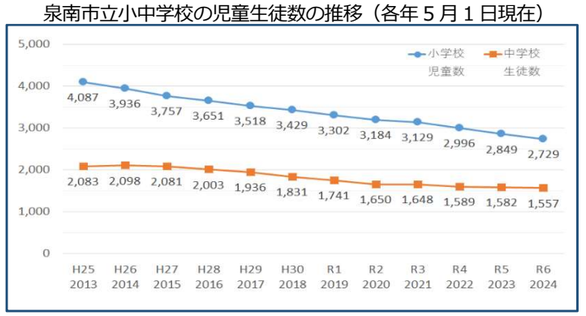
施設：令和２（2020）年３月１日時点
学級・児童生徒数：同年５月１日時点

学校名称	建築年		経過年数	学級数（通常級数）	児童生徒数
西信達中学校	昭和32	1957	**63**	6	186
西信達小学校	昭和40	1965	**55**	12	313
信達小学校	昭和40	1965	**55**	18	634
東小学校	昭和41	1966	**54**	6	84
雄信小学校	昭和42	1967	**53**	7	211
新家小学校	昭和42	1967	**53**	8	205
樽井小学校	昭和44	1969	**51**	17	500
鳴滝小学校	昭和48	1973	**47**	8	245
一丘小学校	昭和48	1973	**47**	8	260
砂川小学校	昭和50	1975	**45**	18	563
一丘中学校	昭和50	1975	**45**	11	373
信達中学校	昭和52	1977	**43**	17	653
新家東小学校	昭和56	1981	**39**	6	169
泉南中学校	平成31	2019	**1**	12	438

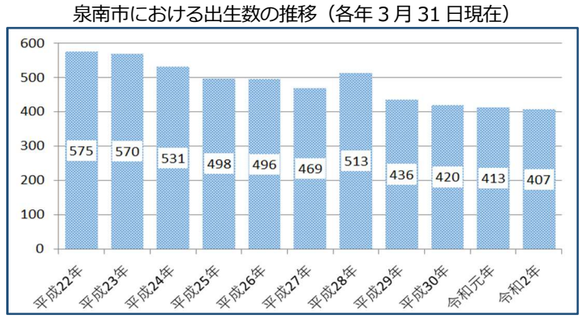
２．児童生徒の現状

泉南市の子どもの数は、年々減少しており、近い将来、新入生は 400 人程度となり、小学校 10 校平均で 40 人程度（１クラス）、中学校４校区で考えると平均で 100 人程度（３クラス）となります。今後も学校の小規模校化と単学級化、さらには複式学級になる可能性も予測されます。単学級では、児童生徒の間で人間関係が固定化されるなど教育上の様々なデメリットがあると指摘されています。したがって、適正規模（１学年：小学校２～３クラス、中学校４～６クラス）を標準とした学校への再編が望まれます。

泉南市立小中学校の児童生徒数の推移（各年５月１日現在）



泉南市における出生数の推移（各年３月 31 日現在）



3．直面する課題と優先すべき事項

泉南市のほとんどの学校施設は建替え等の時期を迎えています。しかも、少子化の中で一定の集約化を行い、再編することが必要となっています。

泉南市教育委員会では、新しい時代のニーズに応じた優れた学校群を構築するために、次に掲げる多くの課題について、優先度を見極めつつ総合的に検討してまいります。

施設の老朽化	人口減少	小中一貫教育	求められる機能
調整区解消	柔軟な学区制度	通学距離	新築･改修
財政	市域バランス	コミュニティ	留守家庭児童会
防災機能	広域連携	感染症対策	跡地活用

優先すべき事項

- ● 古い学校から着手
- ● 単学級化の解消
- ◆ 防災上の拠点
- ◆ 複数の学校選択を保証
- ◆ 調整区の解消

4．目指すイメージ

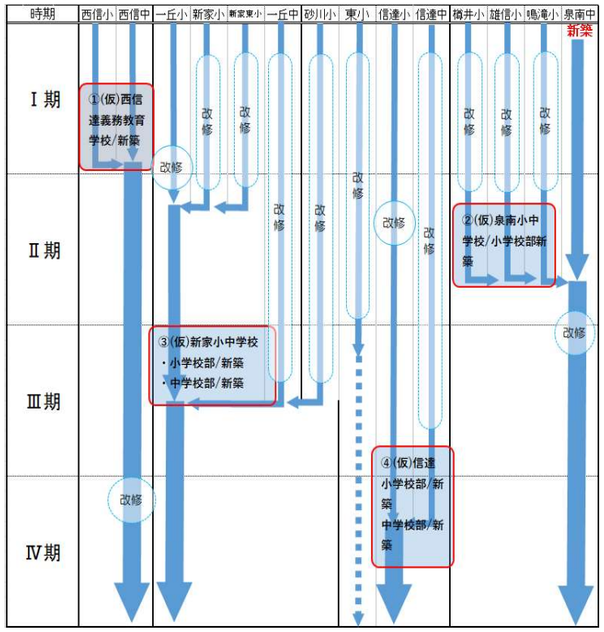
泉南市が目指す「新たな時代のニーズに応じた、優れた学校群」のイメージです。

新潟県三条市立第一中学校・嵐南小学校の小中一体校の例　新潟県三条市教育委員会提供

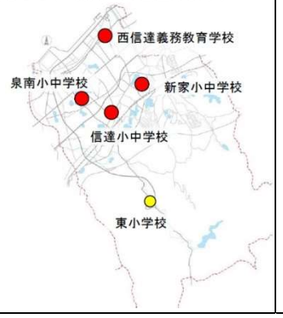
- ○ **明るく、快適な学校**
- ○ **防災やセキュリティーが整備された安全・安心な学校**
- ○ **小中一貫教育で児童が入学時に中学校卒業時の輝く姿をイメージできるような学校**
- ○ **モダンでカッコいい自慢できる学校**
- ○ **外国語教育の特徴が生かせる学校**
- ○ **ICT 環境が整っている学校**
- ○ **感染症対応が適切に行える学校**
- ○ **小中学校の教職員が連携しやすい学校**
- ○ **スポーツ環境が十分な学校**
- ○ **まちづくりの核となる学校**

5．再編案　下の４案をご覧いただき、住民説明会や市ウェブサイトなどで皆様のご意見をお聞かせください。

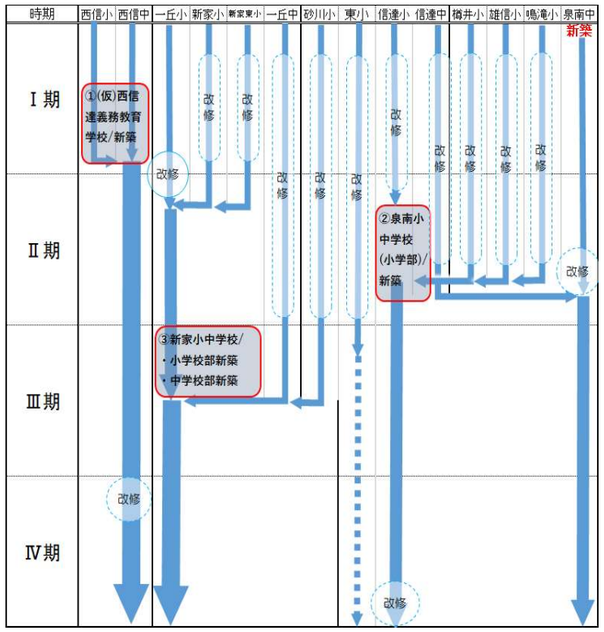
A案



- ● A 案は、現在の４中学校区をそのまま残し、義務教育学校を１校、小中一体校を３校新築する案です。
- ● 老朽化が著しい西信達の小中学校を最初に義務教育学校として新築するとともに、新家エリアの小学校を統合しつつ、順次新築を進めます。
- ● 泉南中学校区の小学校は、泉南中学校の敷地等に新たな小学校を建設します。
- ● 信達エリアは、信達小学校の敷地等に小中一体校を建設します。
- ● 現在の学校区をできるだけ存続しつつ、４駅に近く、跡地利用による新たな発展も視野に入れています。
- ● 学校規模や校区の環境を特性とし、特認校制度を導入する東小学校については、各期において在り方を検討します。

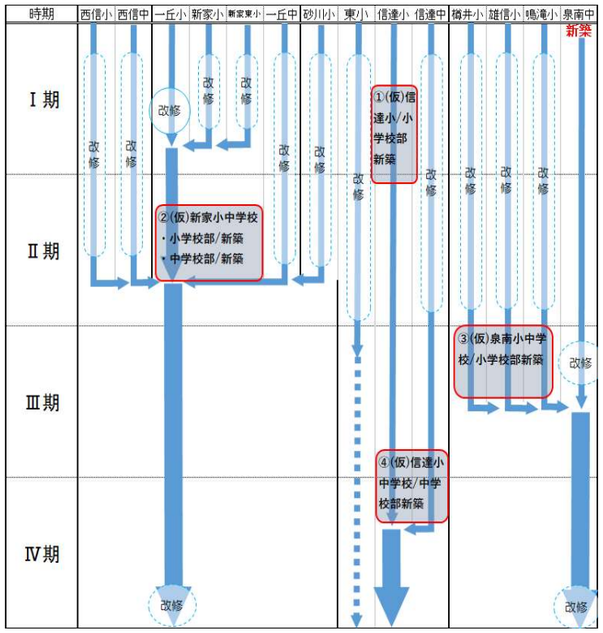


B 案



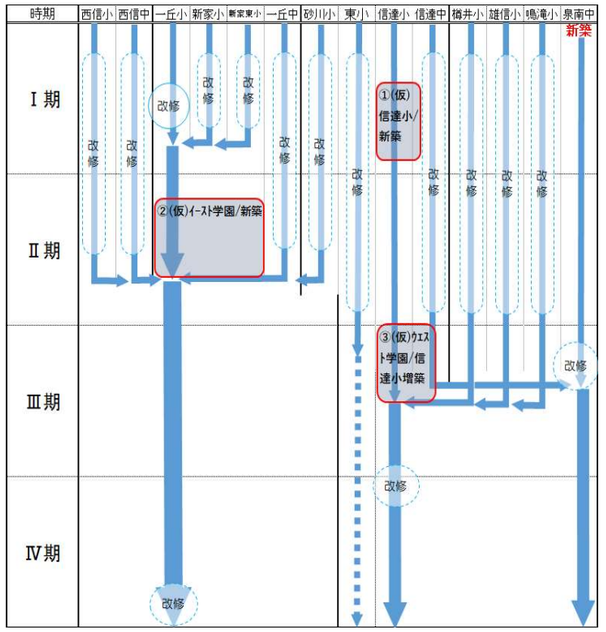
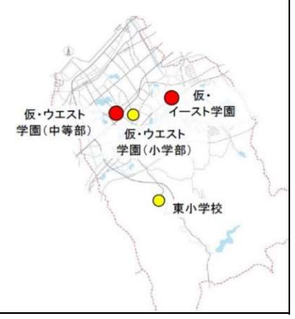
- ● B 案は、泉南中エリアと信達中エリアを統合し、最終的に義務教育学校を１校、小中一体校を１校、小中分離型（小学部１校、中等部１校）を１校とする案です。
- ● 10 年以内には新たに入学する子どもの人数が 400 人程度となるため、４中学校から３中学校に縮小します。
- ● 老朽化が著しい西信達の小中学校を最初に義務教育学校として新築するとともに、新家エリアの小学校を統合しつつ、順次新築を進めます。
- ● 分離型校は、現･泉南中に中等部（泉南中・信達中）を、現・信達小に小学部（信達小、樽井小、鳴滝小、雄信小）を統合します。
- ● 学校規模や校区の環境を特性とし、特認校制度を導入する東小学校については、各期において在り方を検討します。

C 案



- ● C 案は、西信達中エリアと一丘中エリアを統合し、最終的に小中一体校を３校とする案です。
- ● 西信達の小中学校を(仮)新家小中学校に統合します。
- ● 泉南中学校区の小学校は、泉南中学校の敷地等に新たな小学校を建設します。
- ● 信達中エリアは、信達小学校の敷地等に小学校と中学校を順次建築し、小中一体校とします。
- ● 学校規模や校区の環境を特性とし、特認校制度を導入する東小学校については、各期において在り方を検討します。

D 案



- ● D 案は、西信達中エリアと一丘中エリアを統合し、また信達中エリアと泉南中エリアを統合する、最終的に小中一体校を１校、小中分離型（小学部１校、中等部１校）を１校とする案です。
- ● 分離型校は、現・泉南中に中等部（泉南中・信達中）を、現・信達小に小学部（信達小、樽井小、鳴滝小、雄信小）を統合します。
- ● 「全ての学校を小中併設型校にしなくても良いのでは」との意見を踏まえた案です。
- ● 生徒減少を待たないと２校への再編ができないため、20 年程度の期間を要します。
- ● 学校規模や校区の環境を特性とし、特認校制度を導入する東小学校については、各期において在り方を検討します。